

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	高級、清潔志向であり、家庭的な雰囲気や温かみ、季節感が欠けている。	季節感や、利用者の居心地の良い、なじみのある温かい家庭的な雰囲気を作る。	季節感のある置物や、写真、利用者の作った作品を飾り、家庭的な雰囲気作りを目指す。	6ヶ月
2	2	外部との交流の機会が少なく、地域の社会資源を活用しきれていない。開かれた施設ではなく封建的気味である。	他の事業所やグループホームと交流を図り、情報交換を行ったり、施設館見学を気軽に行える環境を整え、開かれた施設を目指す。また、利用者にどんどん外に出ていただくために、地域の資源を発掘し、施設内の情報も発信できるようにする。	近隣の保育所は中学校と連携し、催し物などを通して世代間交流が図れるように活動する。また、社協を通してのボランティアの受け入れを継続して行う。東灘区のGH連絡会や運営推進会議を通して密な情報交換に努め、日頃からの気軽な交流が図れるようにする。	12ヶ月
3	6	エレベーター、階段等はロックされており、自由な外出が出来ない。GHフロア内も、汚物室、洗濯場など施錠されており自由な空間とは言い難い。	気軽に外出できる雰囲気作り、フロア内無施錠。(設備上、階段やEVはロックを外すことは難しい)	EV、階段は設備の関係で施錠を外すことは難しいが、フロア内の施錠場所は開放できるよう検討する。鍵をかけないことの大切さを職間で再検討し、閉じ込めない為のケアを考える勉強会や研修を行う。	12ヶ月
4	10	利用者、家族等の意見交換の場が持っていない。	小さなことでも利用者の事をどんどん発信し、気軽に意見交換のできる関係作りを行う。月一回の家族便り、2か月に1回の家族の集まれる場を設定する。	月一回の家族便り、家族と職員が2か月に1回程度集まり、情報交換ができる場を作る。「アルテから電話があるとドキッとする」という意見から、日頃から密な情報発信を行い、安心して預けられるように信頼関係を築く。	12ヶ月
5	8	成年後見制度を利用されているが、制度を正しく理解できていない。	職員全員の成年後見制度のたまかな理解。(細かい内容は主任やケアマネジャーが理解する)	成年後見制度の勉強会や研修を行い、制度の外枠がすぐに分かるように、資料を目に見える場所に設置する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。